

大東中学校区でめざす子ども像
「自分と人と地域を愛し、挑戦し続ける子」

【 大東中学校区夢発見プログラム 】

「平和と人権」 重点目標

- 家族の温かさを基盤として、いろいろな人とかかわりを通して命の尊さを感じたり、他者への共感性や自分を大切にしたりしようとする態度を育む。
- 「生きること」の尊さを実感させることを通して、他者の個性を尊重し、自己理解を深め、夢や希望をもって将来の生き方を考えていこうとする態度を育てる。

【実態】

(子どもの実態)

- 各学校によって、性の多様性についての知識、認識に差がある。

(教師の実態)

- 各学校によって指導方法や指導内容に違いがある。
- 小中での連携した指導ができていない。

【今日的課題】

- 性の多様性が認められる学校づくり
 - ・正しい知識や理解の習得
 - ・支援体制の確立と相談しやすい環境づくり
- ・人権教育として発達段階に応じた系統的・計画的な指導の実施

大東中学校

大東小学校

西小学校

阿用小学校

佐世小学校

発達段階に応じた学習内容

知的理解 性的マイノリティの人権

人権感覚 多様な性の在り方

【多様性の尊重】 「みんなちがって みんないい」 違いを認め合う、個人の尊厳 ※全ての人権課題解決のために必要

	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校1・2年	中学校3年
学年別到達目標	○自分らしく過ごすことの大切さを知り、友だちも自分も大切にしようとする態度を育てる。	○性のあり方は一人ひとり違うことに気づき、自他の違いを認め、互いに相手を尊重できる態度を育てる。	○「多様な性」のあり方に関心をもち、正しい知識を身に付けて、よりよい人間関係を築こうとする態度を育てる。	○性的マイノリティについて正しく理解し、当事者の思いに共感し、誰もが自分らしく安心して暮らせる社会について考え、行動しようとする態度を育てる。	○自他の良さや違いを認め、自分らしさを大切に、性の多様性だけでなく、社会全体の様々な多様性も認め合い、よりよい社会や人間関係づくりをしようとする態度を育てる。
学習内容とおさえたいたいこと	○1年生 「すきないろはなあに」 ○2年生 「自分らしくていいんだよ」 ★キーワード 「一人ひとりちがう」「自分らしさが大切」 ・一人ひとり好きなものは違う ・性別に関係なく、好きなものを選んでよい ・一人ひとりが大切な命、宝物 ・自分らしさを大切にする ・友だちの違いも大切にする	○3年生 「らしさって何だろう？」 ○4年生 「いろいろな性、いろいろな家族」 ★キーワード 「性別の固定観念」「いろいろな家族の形」「傷つける言葉」 ・性別の固定観念に捉われず、自分らしく過ごすことが大切 ・家族にはいろいろな形や幸せがあり、違っていてもいい ・一人ひとりに違いがあることが素晴らしいことであり、お互いを認め合うことが大切 ・異性を好きになっても同性を好きになっても好きにならなくてもいい ・性的マイノリティの人を傷つける言葉を使ってはいけない	○5年生 「いろいろな性ってなんだろう」 ○6年生 「自分らしさのものさし」「みきという女の子」 ★キーワード 「4つの性」「自分らしさのものさし」「自分らしくいられる社会」 ・性には、「身体の性」「心の性」「好きになる性」「表現する性」の4つの性があり、性のあり方は一人ひとり違う。 ・自分を含めた誰もが、性のものさしのどこかに位置づいている。 ・性的マイノリティの人達への差別や偏見があり、苦しい思いをしている人もいる ・お互いの違いを認め合い、誰もが自分らしくいられる社会にすることが大切	○中学1年生 「いろいろな性にもっとくわしくなろう」 ○中学2年生 「僕のもやもや」 ★キーワード 「正しい理解と判断」「痛みや感情への共感」 ・性は他人ごとではなく、自分を含めた全ての人々が当事者である ・性的マイノリティをめぐる様々な人権問題がある ・差別や偏見に捉われない、正しい理解や判断が大切	○中学3年生 「誰もが自分らしく暮らせる社会について考えよう」 ★キーワード 「全ての人が生きやすい社会」 ・性の多様性だけでなく、社会にはあらゆる「違い」があり、違いを認め合い、誰もが安心して自分らしく暮らせる社会にすることが大切。 ・正しい知識や理解のもとに行動することで、差別や偏見を未然に防ぐことができる。

【共通】 「みんなちがって みんないい」「困ったことや悩みがある時は、家族や先生、友だちなど信頼できるだれかに相談しよう」